



賞状を授与される原社長(左)



2021年度九州地方発明表彰 「発明奨励賞」を受賞

小里川ダム(岐阜県)で採用

日本建設技術(株)の水質浄化材

発行所
株式会社 建設新聞社
〒849-0301
小城市牛津町乙柳1145-7
Tel. 0952-66-5750 (代)
FAX 0952-66-5751

日本建設技術(株)(本社・唐津市北波多、原裕社長)はこのほど、同社が開発した「ガラス廃材を再資源化した水質浄化材」で、公益社団法人発明協会・九州地方発明協会の2021年度九州地方発明表彰「発明奨励賞」を受賞した。11月5日に宮崎県宮崎市のニューウェルシティ宮崎で表彰式が開催された。

九州地方発明表彰は発明の奨励や育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的とし、

発明などの実施に尽力された人や発明等の指導・奨励・育成に貢献された人の功績を称え表彰するもの。表彰式には同社の原社長、顧問の荒木宏之氏が出席し、表彰を受けた。

同社の技術は、ガラス廃材をリサイクルした多目的環境材料「ミラクルソル」(発泡廃ガラス)を使った水質浄化の技術で、ミラクルソルには連続間隙構造を用いてアンモニア成分を硝化促進させる効果がある。

岐阜県の小里川ダム



▲ミラクルソルの上部に水草が繁茂する様子

に流入する河川に養豚場からの糞尿が混入し、ダム湖内にアオコが発生していたが、同社のミラクルソルを使った水質浄化技術が採用され、現在ではミラクルソルの上部に水草が繁茂し、景観も良くなっている。